

都立戸山地区学園特別支援学校（仮称）計画

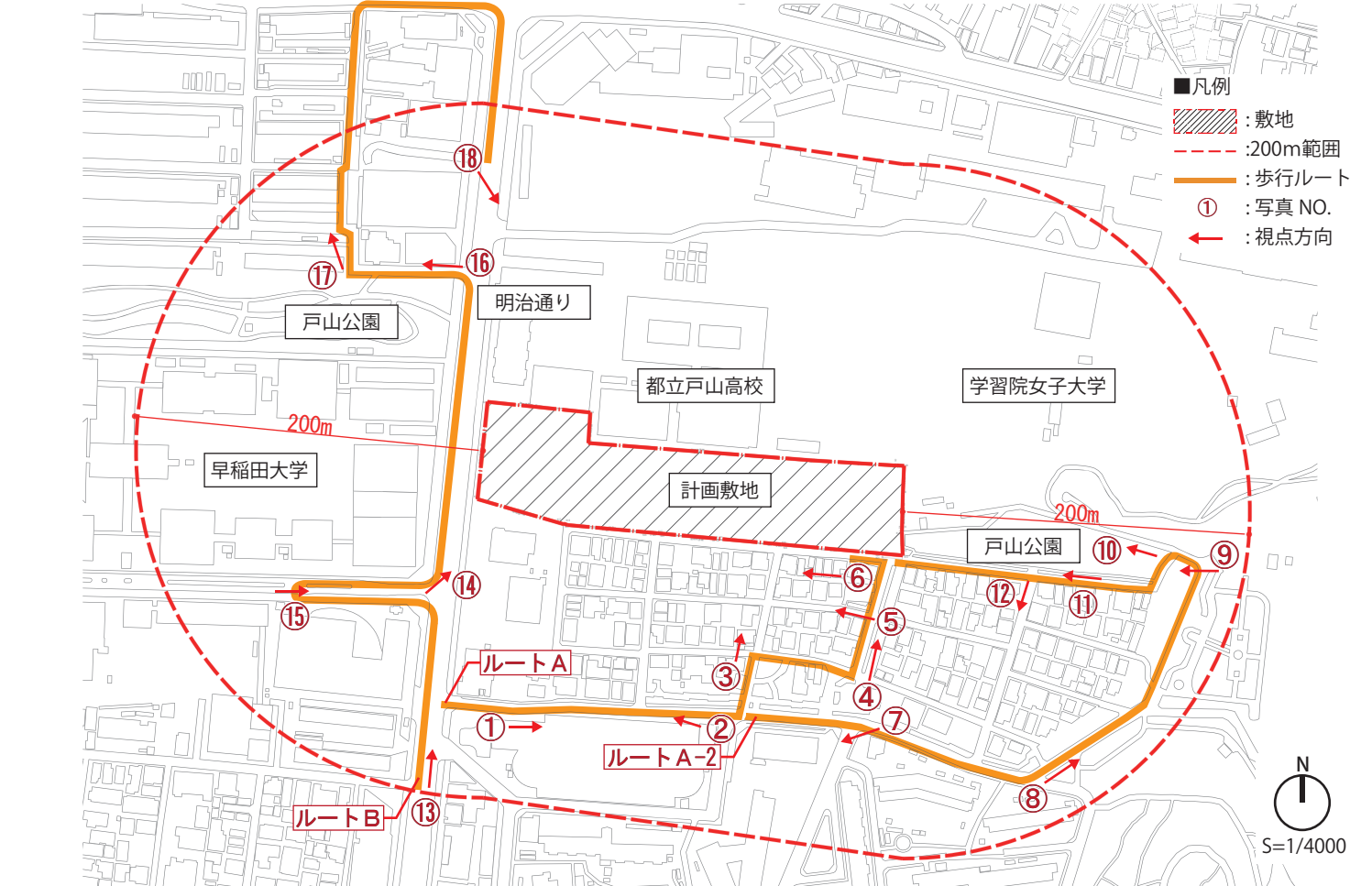
景観まちづくり審議会

目次	
01. 付近見取り図	: P1
02. 予備調査報告書	: P2
03. 上位計画	: P3
04. 計画概要	: P4-5
05. 景観形成方針〔形態意匠〕	: P6-7
06. 景観形成方針〔植栽計画〕	: P8-10
07. 色彩計画	: P11
08. 着色立面図	: P12-13
09. 景観イメージ	: P14
資 -1. 植栽配置計画	: P15-16

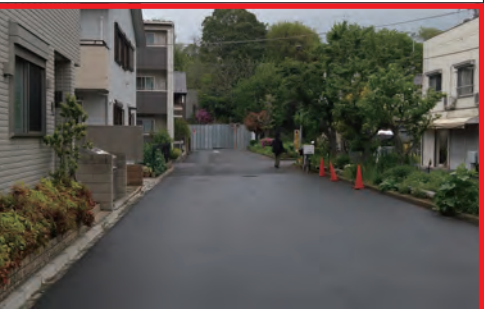


計画名称	: 都立戸山地区学園特別支援学校 (仮称) 新築工事
用途地域	: 商業地域 / 第 1 種中高層住居専用地域
指定容積率	: 600%/300%
指定建蔽率	: 80%/60%
敷地面積	: 12781.39 m ²

※国土地理院 基礎地図情報を基に作成



ルートA No. 1
明治通り側から計画地南側にある住宅地方向を望む。
写真左手には住宅が並び始め、右手側にはタクシー会社や自動車の整備工場が並ぶ。



ルートA No. 4
住宅地から計画敷地方向を望む。
No.2の写真にある緑道が写真の右手側まで続いている。



ルートA No. 2
道路に面して、花壇や広場が設けられている緑道が整備されみどりが多い。
近隣の住民が散歩している様子が伺える。



ルートA No. 5
住宅地の中央の通路を望む。
みどりはあるものの、道が狭く、圧迫感を感じる空間になっている。



ルートA No. 3
住宅地の中を望む。あちこちに木々が見受けられ、みどりが多い印象。
住民が行き交う程度なので、静かな住宅地になっている。



ルートA No. 6
計画地の南側接道を望む。
フェンスで隠れているが写真右手の計画地には擁壁が立ち上がり奥まで続いている。



ルートA-2 No. 7
住宅地の向かいには、自動車整備工場等がある大きな建物があるが、道幅が広く車も少ない為、開けた空間になっている。



ルートA-2 No. 10
戸山公園内の歩道へ進む。
木陰が続く気持ちの良い道。近くには小さな池もあり、動植物を観察する人々が見られた。



ルートB No. 13
コズミックセンター側から明治通りを望む。
右手には商業施設があり、車線が多く広い道路の為、交通量も多い場所である。



ルートB No. 16
明治通りから新宿北郵便局横の道を進む。
左手は戸山公園があるが工事中の為立ち入ることができなかった。



ルートA-2 No. 8
住宅地から戸山公園方向へ進む。
樹木が増えてきて木陰も多く、散歩や木の下で会話をしている住民も見受けられた。



ルートA-2 No. 11
戸山公園から住宅地へ抜けていく。
住宅が立ち並び圧迫感はあるが、向かいの木々が生い茂るためみどり豊かな道になっている。



ルートB No. 14
新宿コズミック通りから明治通り方向を望む。
銀杏の木が植えられ、道の中央にも植栽がありみどり豊かで開放的な空間。



ルートB No. 17
都営西大久保アパート方向へ進む。戸山公園に隣接しており、みどりが多く、住民しか使わない道なのか静かな通りである。



ルートA-2 No. 9
戸山公園内の広場を望む。
緑地の中の開けた場所で、朝方には近隣住民が集まり体操や花壇のお世話をしていた。



ルートA-2 No. 12
戸山公園から住宅地方向を望む。
住宅が立ち並び駐車場がある。住宅地の中では広い道で見通しが良い。



ルートB No. 15
新宿コズミック通りから右手の計画敷地を望む。
敷地周囲には街路樹などのみどりが少ない。



ルートB No. 18
明治通りを望む。左手には学習院旧正門がある。戸山高校や大学など教育施設が集まっている為、学生の姿が多い。

■新宿区都市マスタープラン【若松地域】(2017 年 12 月)

地域の将来像

- ・誰にもやさしい元気のあるまち

地域のまちづくり方針

- ・土地利用・市街地整備

周辺の住環境と調和したまちなみの形成を図ります。

- ・道路・交通

誰にもやさしい歩道の整備を進めます。

- ・安全・安心まちづくり

避難所の災害時の設備の充実を図ります。

- ・みどり・公園

人々が集まり交流できる憩いの広場づくりに取り組みます。

- ・都市アメニティ

坂道や生活道路の沿道等の良好な景観形成を検討します。

■新宿区景観まちづくり計画（一般地区）(2023 年 3 月)

一般地区の景観形成基準（建築物）

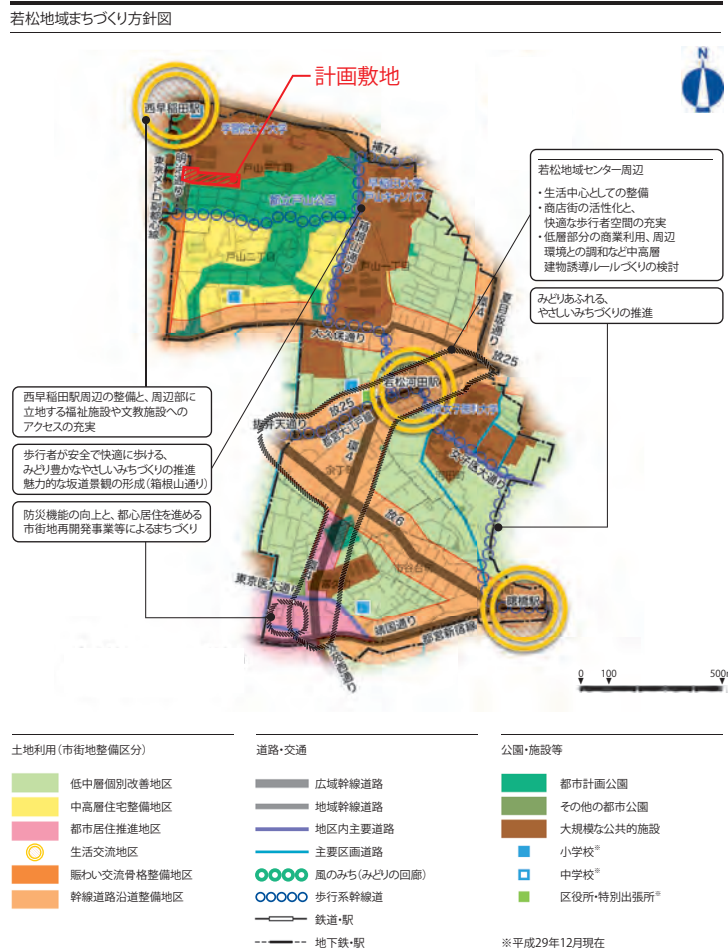
■建築物の建築等		
届出対象行為	建築物の新築、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更	
届出対象規模	建築物の高さ＞10m 又は延べ面積＞300㎡	
景観形成基準	形態意匠	○外壁の色彩や素材は、隣接する建築物や周辺景観との調和を図る。 ○形態意匠*は、建築物単体のバランスだけでなく、隣接する建築物や周辺景観との調和を図る。
	その他	○敷地内に歴史的な建造物や残すべき自然などがある場合は、積極的にこれらを活かす。 ○隣接する建築物の壁面等の位置を考慮した配置とする。 ○附帯する設備等は、建築物と一体的に計画するか、歩行者や水平方向からの見え方に配慮し、緑化や目隠しなどによる修景*を行う。 ○附帯する構造物や施設等は、建築物との調和を図るとともに、歩行者からの見え方に配慮した修景をする。 ○外構*は、敷地内のデザインだけでなく、隣接する敷地や道路など、周辺景観との調和を図る。 ○敷地内はできる限り緑化を行う。 ○周辺との調和に配慮しつつ、夜間景観の魅力向上に寄与する効果的な照明とする。 ○ビル名や店名等の自家用広告物、第三者広告物等の屋外広告物の掲出については、建築物の設計の早い段階から、周辺景観や建築物等へ配慮する。

■新宿区景観形成ガイドライン(2023 年 3 月)

エリア別景観形成ガイドライン 4 若松地域

4-1 戸山公園箱根山エリア

戸山公園は、尾張藩徳川家下屋敷で、かつては戸山山荘と呼ばれていました。その中心には区内で最も標高の高い「箱根山(44.6m)」があります。本エリアー帯は、明治時代より軍用地として活用され、軍用地であったことを伝える遺構が点在しています。周囲には、早稲田大学や学習院女子大学、都営住宅、国立国際医療研究センター病院などの大規模施設群があります。



1. 歴史あるみどり



尾張藩徳川家下屋敷の庭園であったこのエリアには、窪地を活かした、ため池がありました。庭園の一部であった「箱根山」は、区内で最も標高が高く、その頂上は高く成った公園の木々に囲まれています。

2. みどりで覆われた歩行者空間



周囲で生活する人々にとって戸山公園は、憩いの場であるとともに、生活動線としても使われています。そのため、その周辺においても公園と一体となった快適な歩行者空間の創出が必要です。

3. 大規模敷地群



エリア内には、大学や都営住宅、医療施設等が多数存在しています。それぞれの持つまとまったみどりを連続させ、快適で楽しめる歩行者空間の創出が必要です。

一般地区の景観形成基準（開発行為）

■開発行為（都市計画法第4条第12項に規定する開発行為）	
届出対象規模	開発区域の面積＞1,000㎡
景観形成基準	○開発区域内に、歴史的な建造物や残すべき自然などがある場合は、それらを活かした計画とする。 ○大幅な地形の変更を避けるとともに、長大な擁壁や法面*などが生じないようにする。 ○擁壁や法面は、緑化等を行うことにより、圧迫感の軽減を図る。
ただし、開発区域の面積＞400,000㎡の場合は、下記の景観形成基準を加えるものとする。	
景観形成基準	○事業地内のオープンスペース*と周辺地域のオープンスペースが連続的なものとなるように計画するなど、周辺地域の土地利用と関連付けた土地利用計画とする。 ○開発区域内の全体的な計画を踏まえ、個別の計画もまとまりのあるものとする。 ○区画割によって不整形な土地が生じる場合には、積極的に緑地や広場などとして活用する。 ○電線類は道路を整備する際に地中化したり、目立たない場所に設置するなどの工夫をする。

景観形成の目標

エリア別景観形成ガイドライン 4 若松地域

戸山公園と大規模施設群を中心としたみどり豊かなまちなみへ

公共用地とまち、公園が一体となり、多様な都市機能を有するみどりあふれる「都市の森」を形成する。

景観形成の方針

1. 戸山公園周辺ではまとまったみどりを保全・創出する

景観形成の考え方

旧尾張藩邸下屋敷であった戸山公園一帯の歴史や地形を活かし、公園と周辺が一体となってまとまったみどりを創出する。

具体的な方策

- 戸山公園箱根山周辺のみどりを保全する
- 大規模敷地の計画では、まとまった緑化を行う
- 中・小規模敷地の計画では、道路沿いで積極的に緑化を行う
- 単なる緑化にとどまらず、生物が息できる環境の充実を図る

2. 散策したくなる魅力的な歩行者空間をつくる

景観形成の考え方

エリアを南北に貫く箱根山通りでは魅力的な坂道景観をつくり、また、戸山公園周辺の道路では、歩く人に快適な魅力ある景観をつくる。

具体的な方策

- 外壁の素材や色彩は、周囲の落ち着いた雰囲気と調和したものとする
- 擁壁の上部の塀・さくは高さを抑える
- 擁壁は周囲と調和し、圧迫感を与えないものとなるよう工夫する（壁面緑化を行う、自然素材を用いる、分節化を図る など）
- 道路沿いには空地をとり、植栽帯を設ける
- 戸山公園への動線となっている道路沿いでは、歩道と連続した歩行者空間をつくり緑化を行う

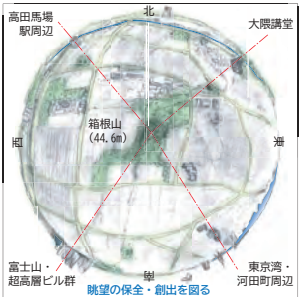
3. まちに溶け込む大規模施設群の景観をつくる

景観形成の考え方

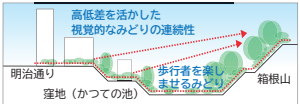
エリア内に多数存在する大規模施設（大学や医療・福祉機関等）の敷地境界を開放的なものにし、周囲を歩く人が楽しめるような景観をつくる。

具体的な方策

- 色彩や素材は、周囲と調和した落ち着いたものとする
- 道路沿いには十分な広さの空地を設け、樹木や草花などにより、歩行者にとって明るく潤いのある景観をつくる
- 屋上緑化や壁面緑化を積極的に行う
- ベンチの設置やバリアフリー化など、誰もが快適に過ごせる公共空間*の充実を図る



箱根山を中心とした周辺地域の景観資源*



地形を活かした一体感のあるみどり



大規模敷地の周辺に生じる圧迫感の緩和



まちに溶け込む大規模敷地群

■設計概要

計画名称	都立戸山地区学園特別支援学校 (仮称)新築工事		
計画敷地	東京都新宿区戸山三丁目17番2号		
敷地面積	12,781.39㎡		
用途	特別支援学校		
構造・規模	PCaPC 地上3階 地下1階		
高さ	領域1:17.220m 領域2:16.810m 領域3:14.495m		
建築面積	8,549.80㎡ (建蔽率69.0%/許容73.33%)		
延床面積	22,871.32㎡ (容積率162.19%/許容333.31%)		
着工	2026年7月	予定	
竣工	2031年10月	予定	

■全体スケジュール

日時		2022年					2023年												2024年												2025年												2026年											
		R4年度					R5年度												R6年度												R7年度												R8年度											
		10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
全体工程		設計期間																																																				
設計	基本	基本設計																																																				
	実施																	実施設計						積算						計通作成		計通対応																						
申請	開発																	開発許可申請						許可																														
	計画通知																							各種事前協議申請						計通通知																								
		計通通知受付																																																				
工事																																										工事着工												

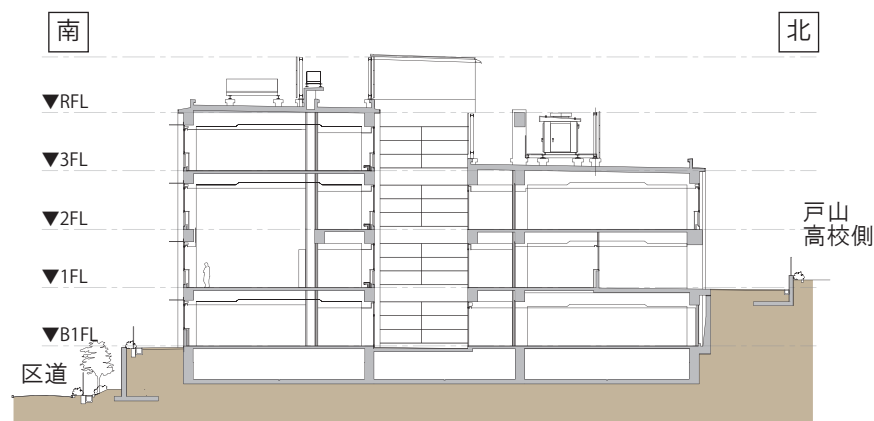


西: 明治通り



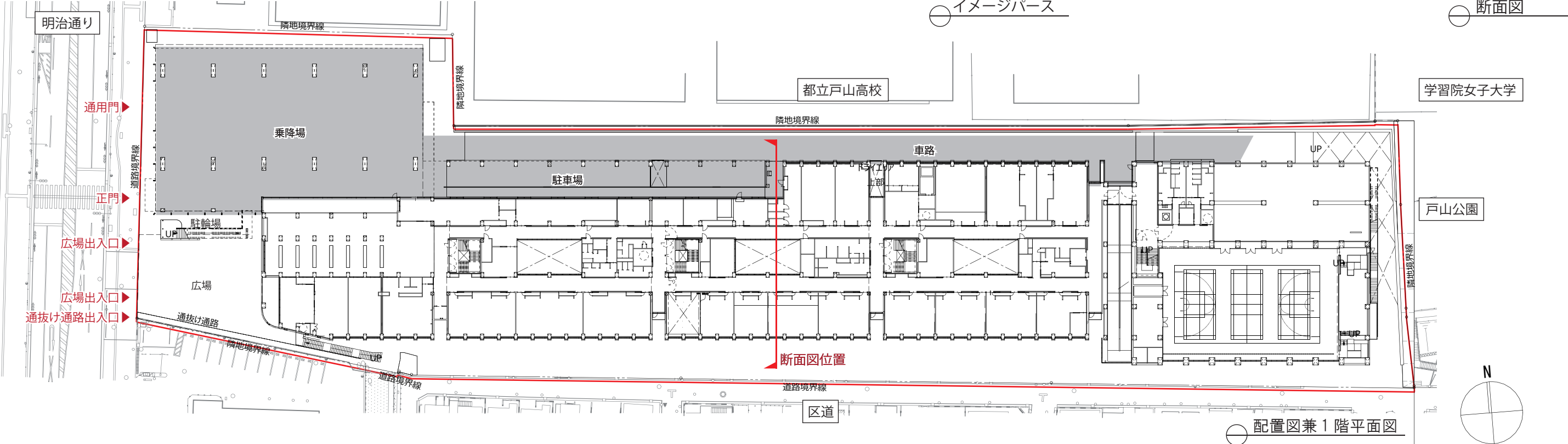
南: 区道側

イメージパース



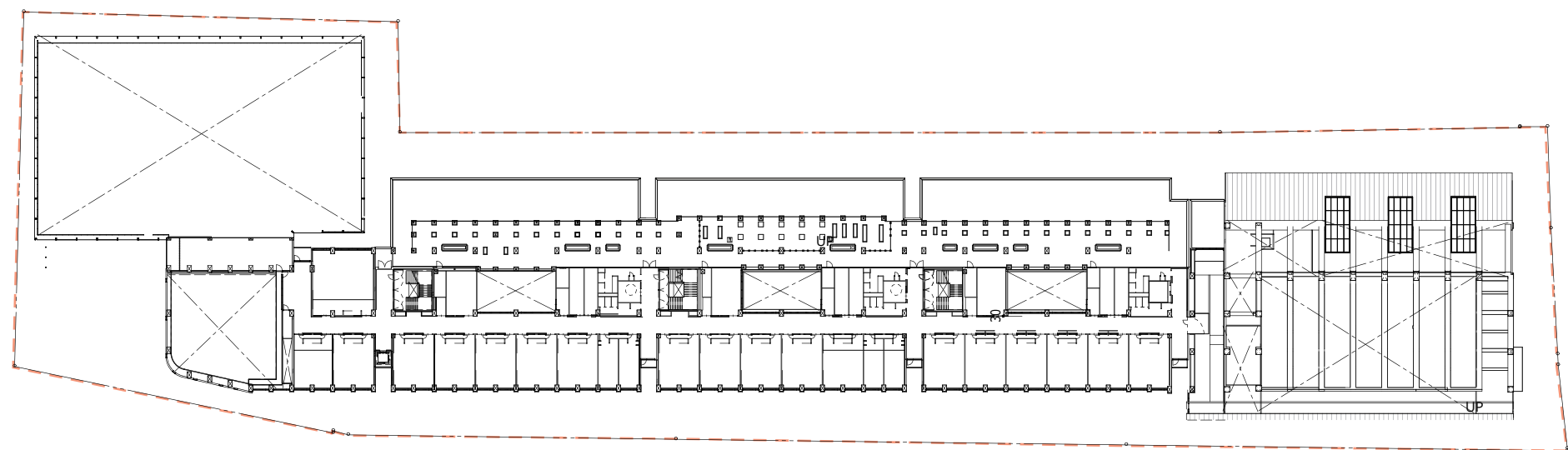
断面図

■全体配置図

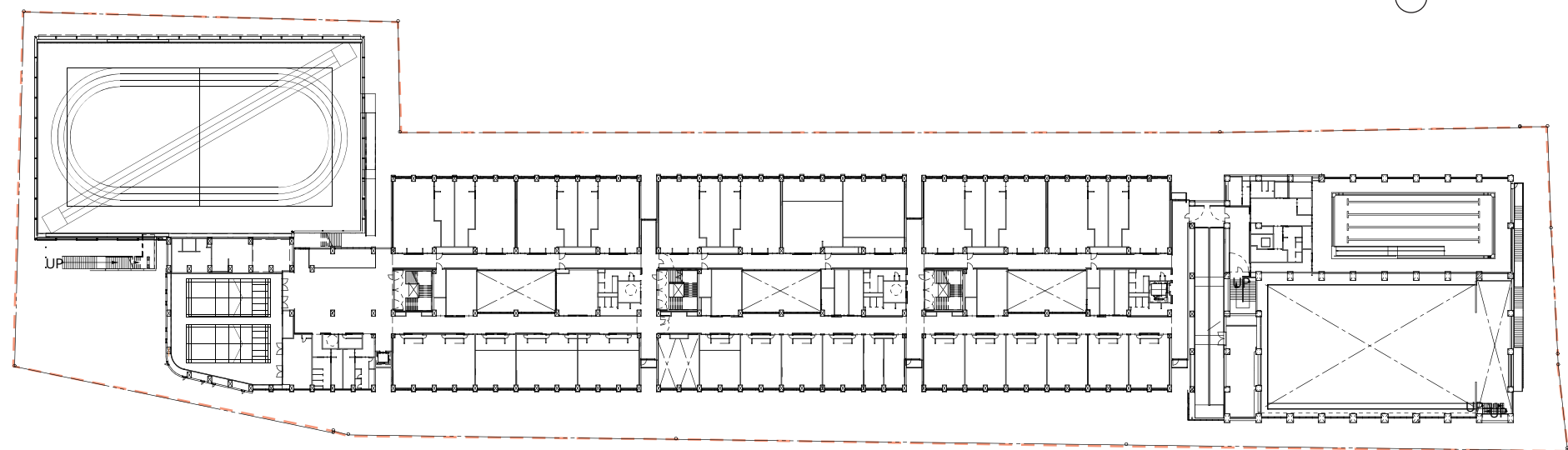


配置図兼1階平面図

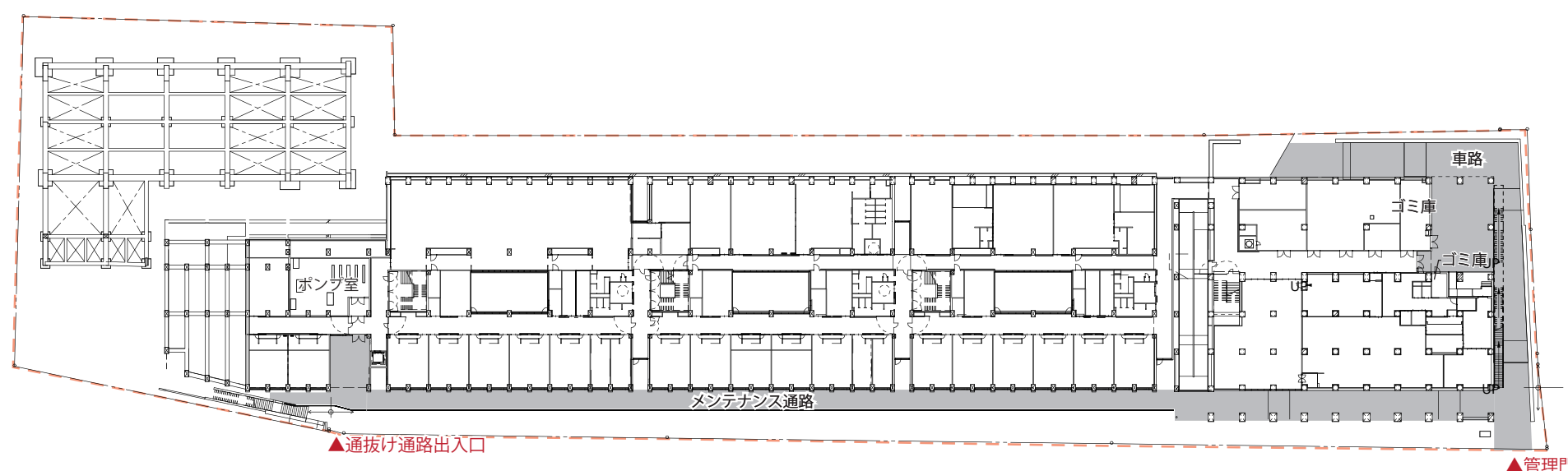
※今後、行政協議等により変更となる可能性があります。



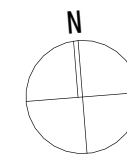
3 階平面図



2 階平面図



B1 階平面図



※今後、行政協議等により変更となる可能性があります。

■ 西側ファサードの考え方

- ①学校の顔となる明治通り沿いは、孔が開いたパネルを市松模様に設置することで、通ってくる子供たちの目印となるように分かりやすく、通いたくなる様な楽しいデザインにした。
- ②市松模様とパネルはバス乗降所及びその上部に配置した屋上グラウンドを囲んでおり、防球ネットがファサードになってしまう風景を避け、明治通り沿いの都市の風景に馴染むファサードを生み出す。
- ③また、市松模様とすることでグラウンドで活動する、子供たちと街の人々との見る見られる関係をコントロールしている。見えすぎること子供たちの注意力が散漫にならない様にするとともに、街の人々に子供たちの活動が垣間見える関係を作り出す。
- ④江戸時代に広まった市松模様は敷地が持つ歴史性にも呼応している。
- ⑤南側ファサードが続く第2体育館ファサードは柔らかなカーブを描くことで東西の戸山公園をつないでいる。

■ 南側ファサードの考え方

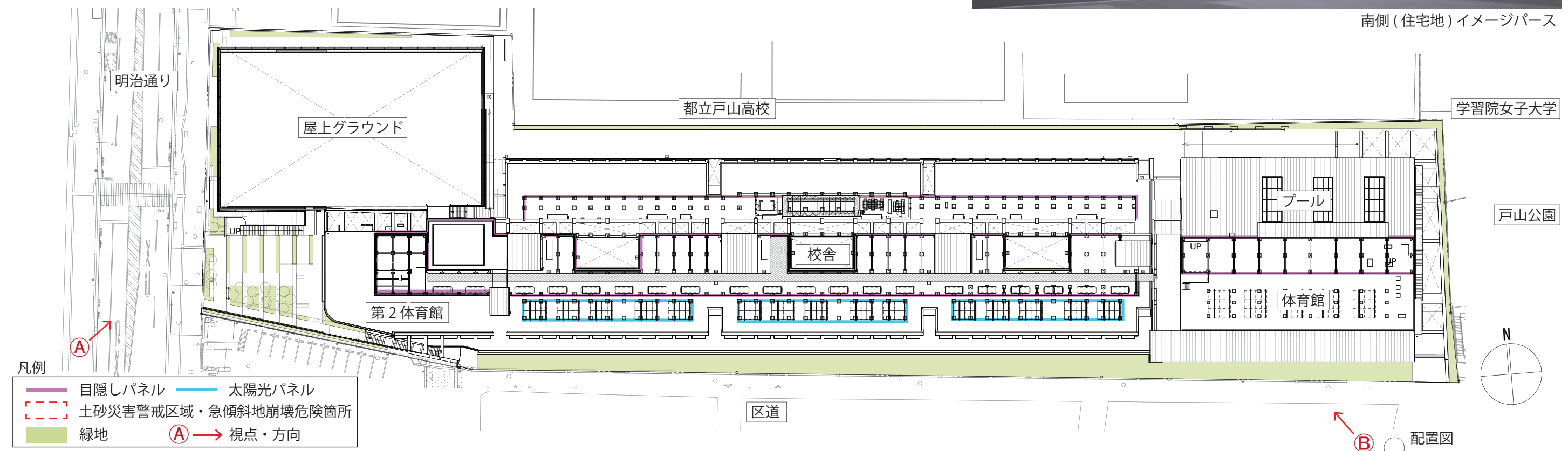
- ①明治通りと南側区道をつなげる道路を計画。南側住宅地の住民の利便性を向上させます。
- ②既存擁壁をやり替え、南側住宅地への安全性を高めるとともに、南側区道沿いを緑化し、みどり豊かな景観とします。（土砂災害警戒区域・急傾斜地崩壊危険箇所の一部を除き解消予定）
- ③太陽光パネルは勾配を東向き5°とし、近隣への光害対策と南側からの景観に配慮します。
- ④設備機器は屋上に配置。目隠し壁を設置し、周囲からの景観に配慮します。
- ⑤長大な建物を分節化し圧迫感を低減。単調となりがちな校舎南面をアクセントカラーにより強調するとともに楽しい外観とした。
- ⑥外壁はグレー系をベース色とし、アクセントカラーについても日本の伝統的な落ち着いた色彩を採用し、住宅やみどりの多い街並みに合った計画とします。(P10)



西側（明治通り）イメージパース

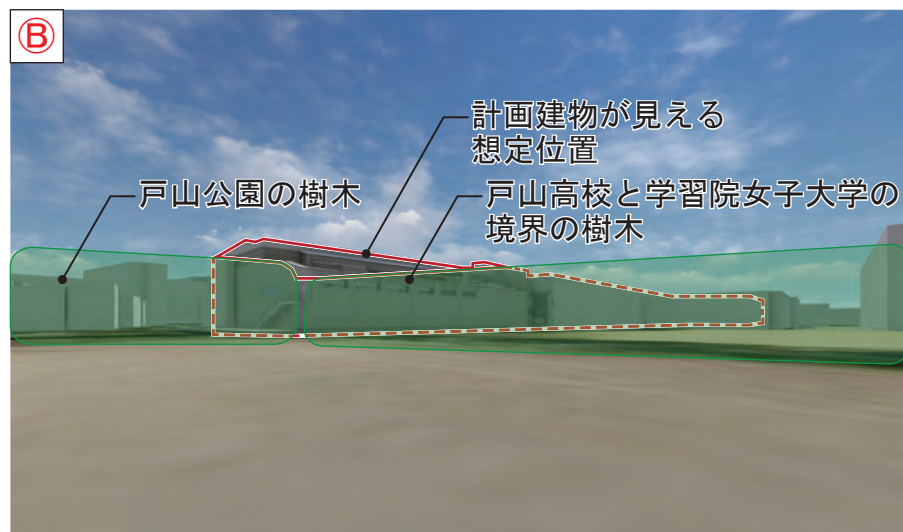


南側（住宅地）イメージパース





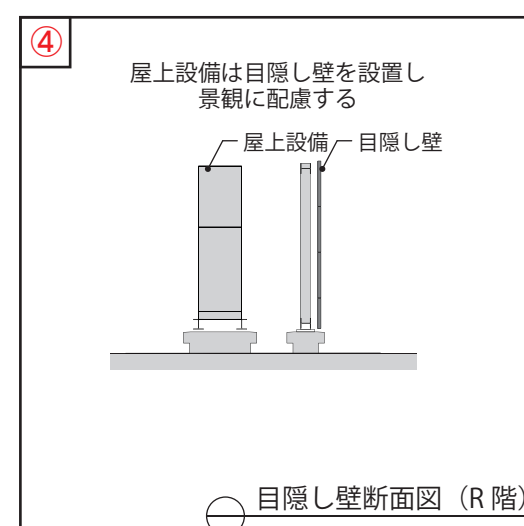
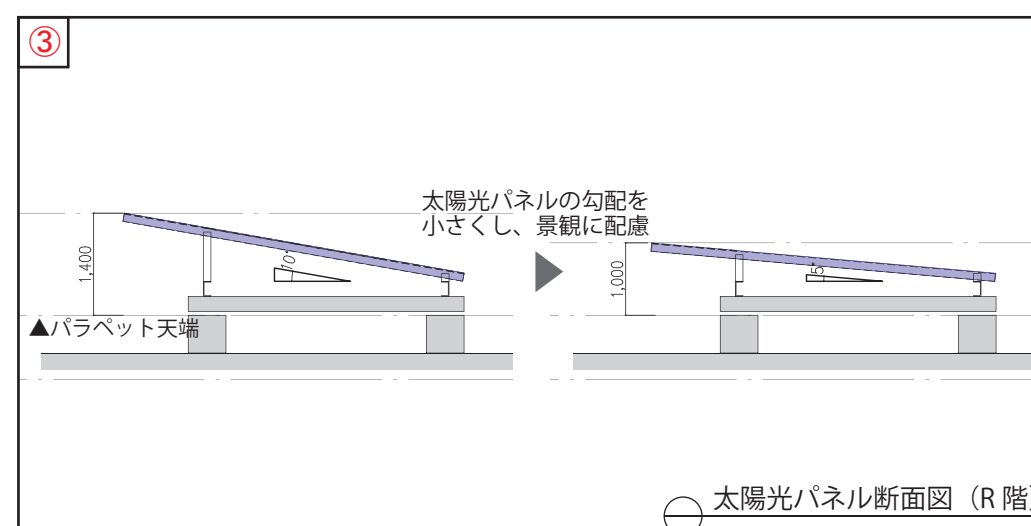
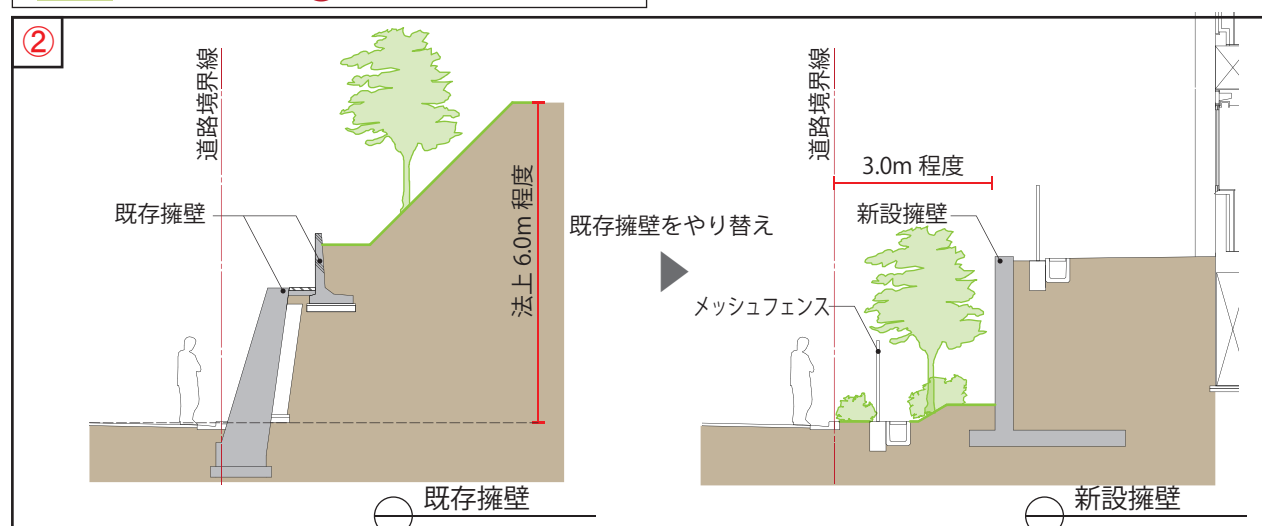
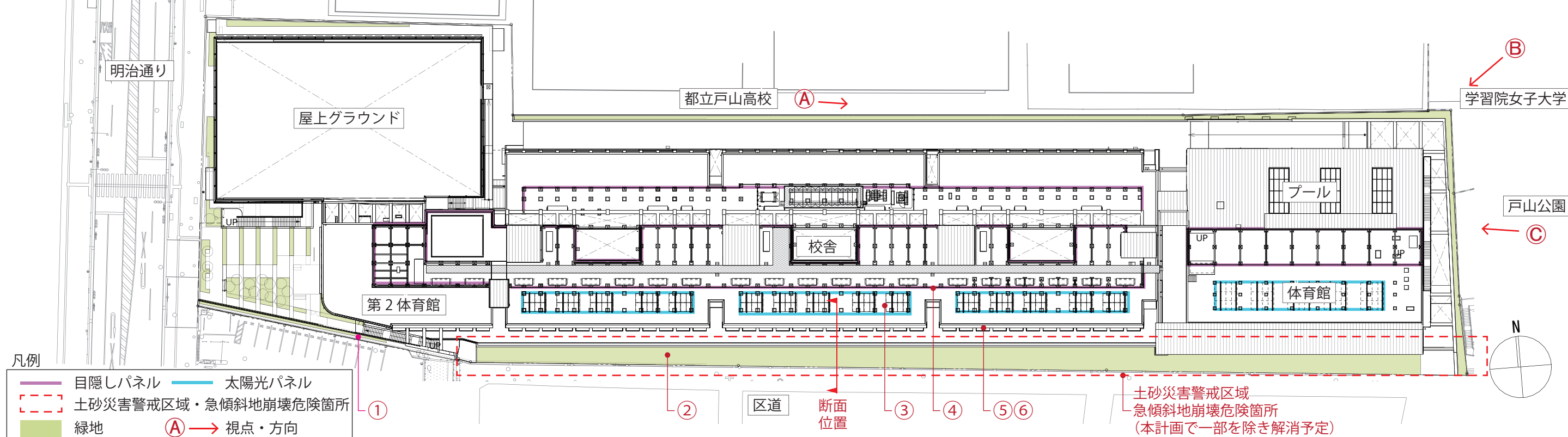
戸山高校体育館付近より
フェンスとグラウンド樹木で部分的に隠れている

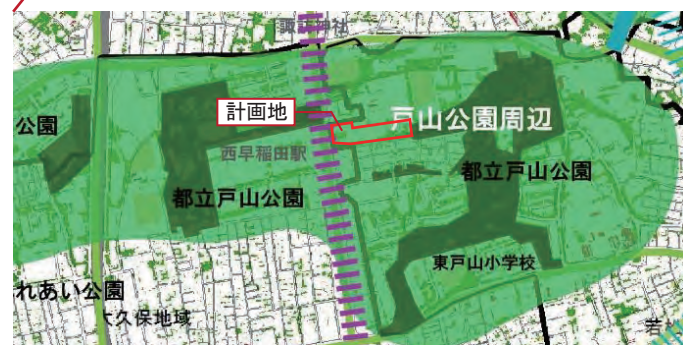
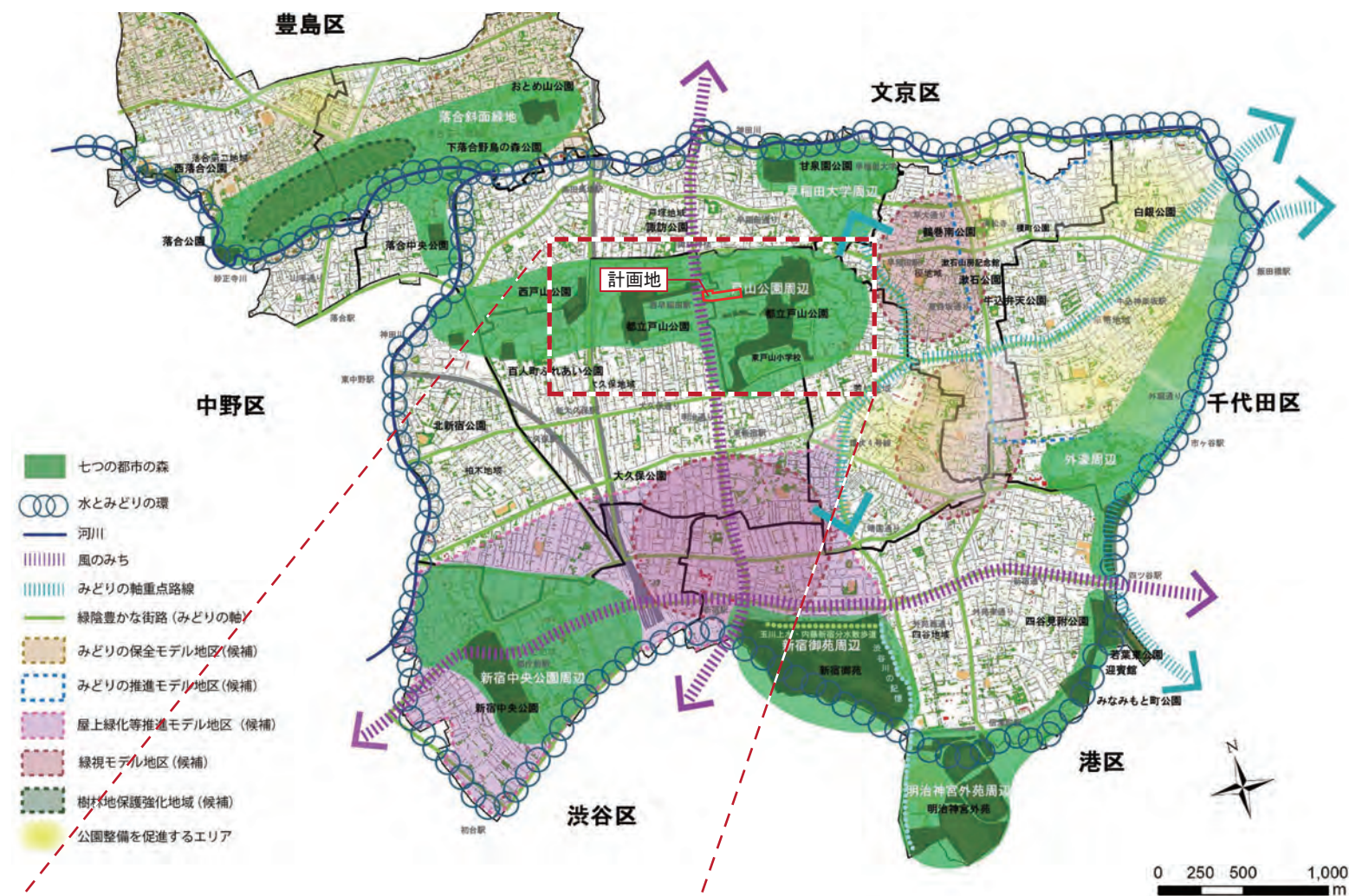


学習院女子大学グラウンドより
大学内樹木や戸山公園の樹木に隠れる位置



戸山公園ひなたぼっこ広場より
園内樹木に隠れる位置





部分拡大図（計画地所在）

敷地周辺の概要

- 「新宿区みどりの基本計画」において「七つの都市の森」に指定されており、みどりの保全と拡充が求められている。
- 敷地の北西側は戸山公園大久保地区、東側は戸山公園箱根山地区に隣接し、2つの公園のみどりをつなげる位置にある。
- 江戸時代には尾張徳川家の下屋敷である戸山荘の跡地である。

出典：新宿区みどりの基本計画「緑の配置方針図」

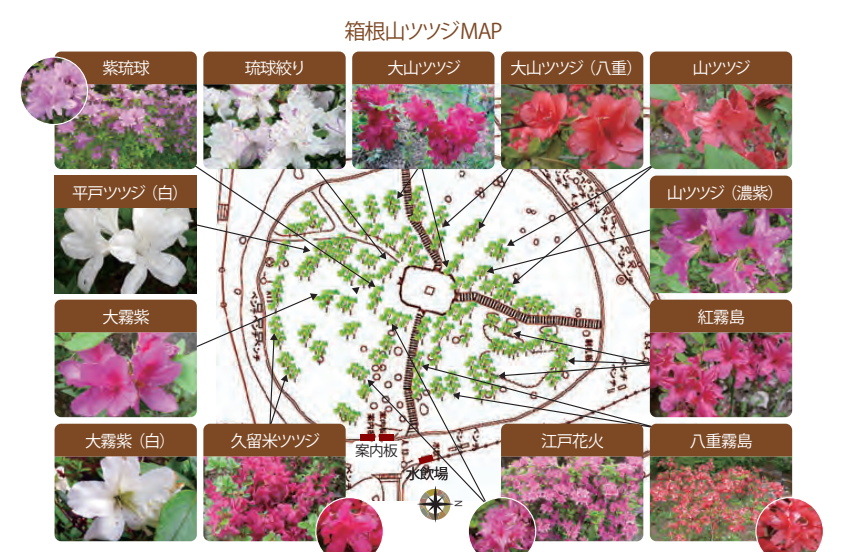


戸山公園箱根山地区と大久保地区をつなげる緑地帯のイメージ

戸山公園の樹種について



出典：フィールドミュージアムガイド戸山公園「江戸名所図会」より

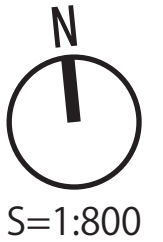


出典：フィールドミュージアムガイド戸山公園

- 戸山公園周辺は、江戸時代にはつつじの栽培が盛んに行われ、ツツジの里として知れていた。
- 現在は園内全域で見ることができ、「陽だまりの丘」での植樹や特に箱根山では多様な種をみることができる。

全体方針

- ・戸山公園のみどりの連続性、周辺住宅・街路、学園内の豊かなみどりの景観の演出
- ・戸山公園、大名屋敷（ツツジ、桜、モミジ、梅）、郷土の樹木（武蔵野台地）の継承
- ・四季折々を楽しめる樹木（花、実、紅葉、匂い、樹皮）の演出
- ・低木・中木・高木による複合的なみどりの景観の演出
- ・生態系ネットワークに寄与する食餌植物（鳥）、蜜源植物（昆虫）の植栽
- ・児童・生徒の学びとなる植栽



一体となる庭

日影に強く、隣接のみどりと一体的な景観を演出

- ・センリョウ、マンリョウ、ヒサカキ、タマリユウ
イヌツゲ、ハマヒサカキ、サカキ、ヤブコウジ
ツゲ、ヒイラギナンテン等

戸山公園
(大久保地区)戸山公園
(箱根山地区)

戸山公園のみどりをつなぐ

地域の庭

学園の顔となる四季折々の大名庭園を想像させる植栽

- ・大名庭園の歴史を継承する植栽の演出
(キリシマツツジ、モミジ等)
- ・学園の春夏秋冬の風景を演出する植栽
(ジンダイアケボノ、モミジ、ロウバイ、サンシュユ等)
- ・見通しよく校舎と調和する株立ち樹種による演出
(エゴノキ、ヤマボウシ、ソヨゴ等)

学びの庭

作業学習ができる教材となる植栽

- ・北側の多様な低木植栽は児童・生徒が授業の一環として
メンテナンスを行う。
(オタフクナンテン、ブッドレア、ラベンダー等)
- ・南側的高中低木植栽が木陰をつくり、児童・生徒と地域の交流スペース
となる。(カツラ、ニシキギ、アジサイ、ヤマブキ等)
- ・児童・生徒が手入れを行う色とりどりの草花を計画
(チューリップ [春]、サルビア [夏]、コスモス [秋]、スイセン [冬] 等)

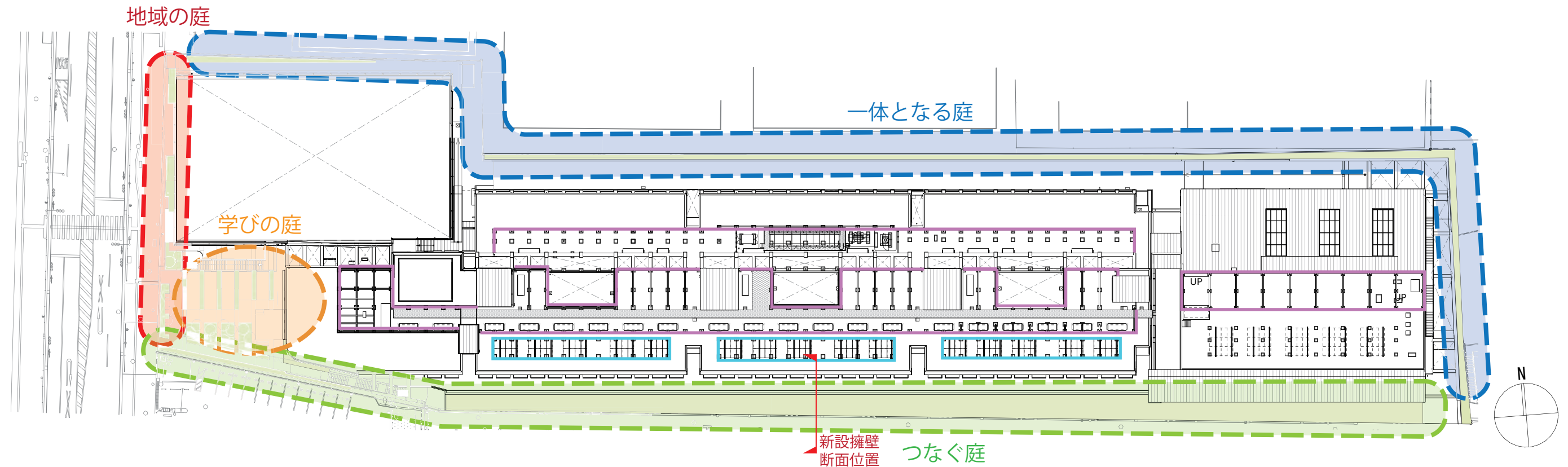
つなぐ庭

東西の戸山公園のみどりをつなぎ、地域と学園をつなぐみどりの帯

- ・接道緑化：戸山公園の多様なツツジを継承し、接道部を華やかに演出。(ツツジ類)
- ・法面緑化：多様な低木（花・葉・実）により四季を楽しめる演出。
(サカキ、ヒイラギナンテン、シモツケ等)
- ・高中木：高中木を庭園技法のランダム配置で演出。(シラカシ、イロハモミジ、ヤマボウシ等)
- ・南北街路の交差部は開花時期の異なるサクラによりアイストップを演出。
(カワヅザクラ [3月上]、ジンダイアケボノ [4月上]、ヤエザクラ [4月中～下])



左：アイストップのイメージ
住宅地の道路から見える緑地
には3種のサクラを計画。
長く地域に楽しんでもらえる
ようことなる開花時期にしてい
る。



地域の庭

「まちに溶け込む大規模施設群の景観」

大規模施設の敷地境界を開放的なものにし、周囲を歩く人が楽しめるような景観をつくる考え方から、明治通り沿いにはツツジの里として知られるきっかけとなったキリシマツツジをはじめ、四季折々の風景をつくる植栽を計画。歩行者に明るく潤いある景観をつくります。



左：紅霧島
下：「江戸名所図会」に描かれた大久保のつつじ

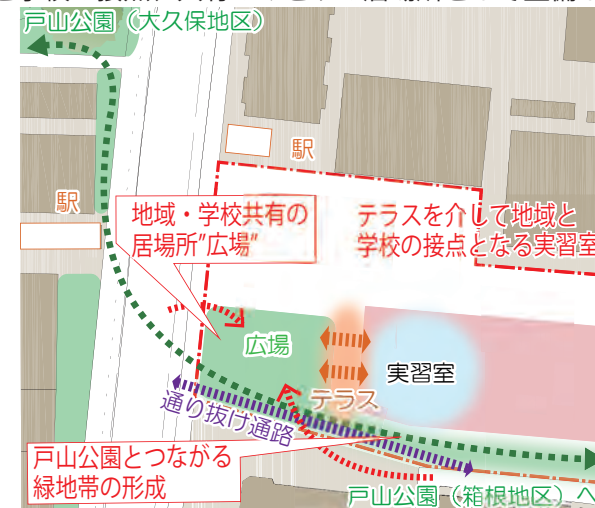


出典：フィールドミュージアムガイド戸山公園「江戸名所図会」

学びの庭

「まとまったみどりを保全・創出する」

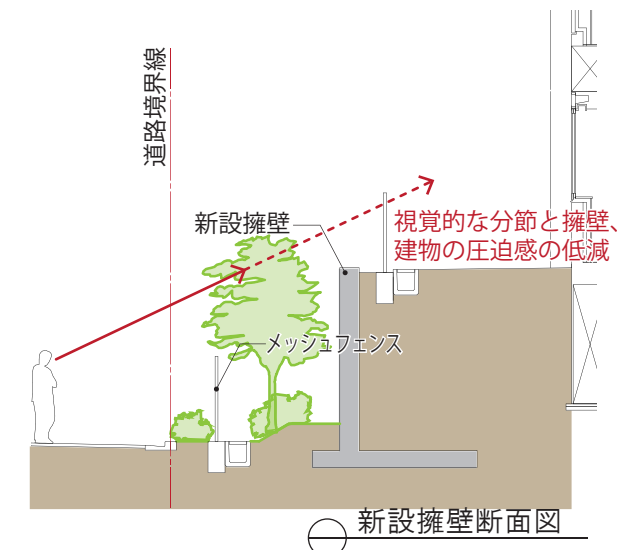
歴史や地形を生かし、戸山公園と周辺が一体となってまとまったみどりを創出する考え方から、広場（まとまったみどり）を計画。敷地内の緑地と合わせて東西に離れた戸山公園をつなぐ緑地を形成します。児童・生徒により管理し、実習室（カフェ）を併設することで地域と学校の接点、共有のみどりの居場所として整備します。



つなぐ庭

「散策したくなる魅力的な歩行者空間をつくる」

戸山公園周辺の道路では、歩く人に快適な魅力ある景観をつくる考え方から、新設した道路沿いの法面には植栽を計画し、高低差を活かした視覚的なみどりのつながりをつくります。樹木があることで長大な擁壁の印象や建物を視覚的に分節し、圧迫感の低減を図り、周囲と調和した景観をつくります。



■戸山荘庭園

計画敷地周辺には、江戸時代に尾張徳川家の下屋敷となる「戸山荘」があった。
寛文9年（1669）に造園が始まり元禄期に完成したとされる。敷地は約13万6千坪であり
庭園はその8割以上を占めていた。起伏ある地形を活かした回遊式の庭園であり、現在も
残る箱根山をはじめ築山の多い大名庭園となっていた。



戸山荘庭園内のイメージ

1. 茯苓坂



4. 古駅楼



5. 御町屋



6. 彩雲塘



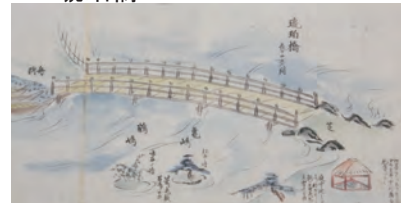
7. 養老泉



9. 髓柳亭



10. 琥珀橋



11. 玉円峰



■色彩について

「戸山荘庭園」が存在していた江戸時代の色彩を外壁色に採用し、日本古来の色味を感じられる計画とする。

当時の庶民の着物の色には、江戸幕府からの規制があり派手な色は使われていなかった。その為、茶色や鼠色をベースにした「四十八茶百鼠」という落ち着いたお洒落な色合いが流行した。外壁のアクセントカラーについては、時代背景を基に、「四十八茶百鼠」の中から色を選定している。

ももしおちや 百塩茶 (羊羹色)	こげちや 焦茶	とのちや 礪茶	ちようじちや 丁子茶	びわちや 枇杷茶	きんちや 金茶	しろちや 白茶	きがらちや 黄唐茶 (黄雀茶)	こびちや 媚茶 (昆布茶)	しかんちや 芝翫茶
えだちや 江戸茶	だんじゅうちや 団十郎茶	からちや 唐茶	えんしゅうちや 遠州茶	かばちや 樺茶	そうでんからちや 宗傳唐茶	すずめちや 雀茶	くりかわちや 栗皮茶 (栗皮茶)	やなぎちや 柳茶	うかんちや 璃寛茶
せんさいちや 千歳茶	ばいこうちや 梅幸茶 (草柳)	いわいちや 岩井茶	なんどちや お納戸茶	あゐみるちや 藍海松茶	とのちや 沈香茶	おめしちや お召茶	あゐずみちや 藍墨茶	やまぶきちや 山吹茶	くわだめ 桑染 (桑茶)
りきゅうしらちや 利休白茶	りきゅうちや 利休茶	ろこうちや 路考茶	みるちや 海松茶	きみるちや 黄海松茶	うぐいすちや 鶯茶	ひわちや 鶺鴒茶	すずめちや 雀茶	はとばずみ 鳩羽鼠	ぶどうずみ 葡萄鼠
べにけしねずみ 紅消鼠	しろねずみ 白鼠 (銀色)	ぎんねずみ 銀鼠 (錫色)	すねずみ 素鼠	どぶねずみ 井鼠 (溝鼠)	せいじねずみ 青磁鼠	きぬねずみ 絹鼠	むらきねずみ 紫鼠	さくらねずみ 桜鼠	うめねずみ 梅鼠
やなぎねずみ 柳鼠 (豆がら茶)	りきゅうねずみ 利休鼠	みなとねずみ 湊鼠 (深川鼠)	あゐねずみ 藍鼠	ふじねずみ 藤鼠	げんじねずみ 源氏鼠	あかつねずみ 暁鼠	うすぐもねずみ 薄雲鼠		

出典：城 一夫、「四十八茶百鼠」、大江戸の色彩、田中壮介編、青幻舎



梅鼠
塗装仕上 A
(7. 6RP 5. 2/3. 4)

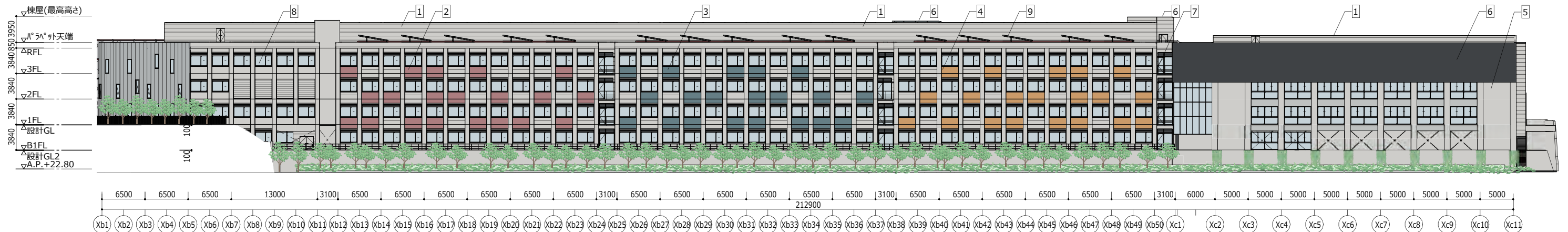


藍鼠
塗装仕上 B
(1. 7PB 4. 4/2. 4)



桑染 (桑茶)
塗装仕上 C
(1. 6Y 7. 0/3. 7)

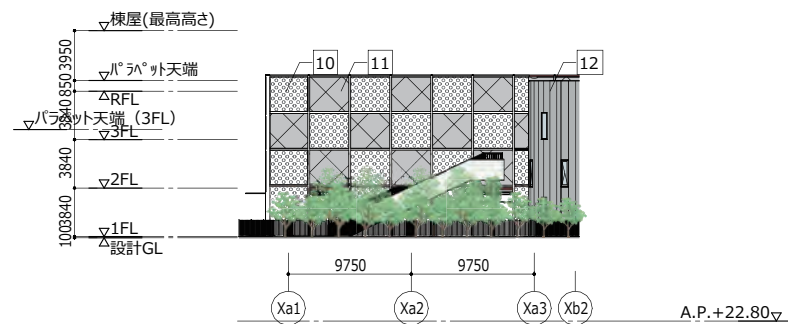
※今後、行政協議等により変更となる可能性があります。



1 着色立面图 (南 Xb1-)

1 : 600

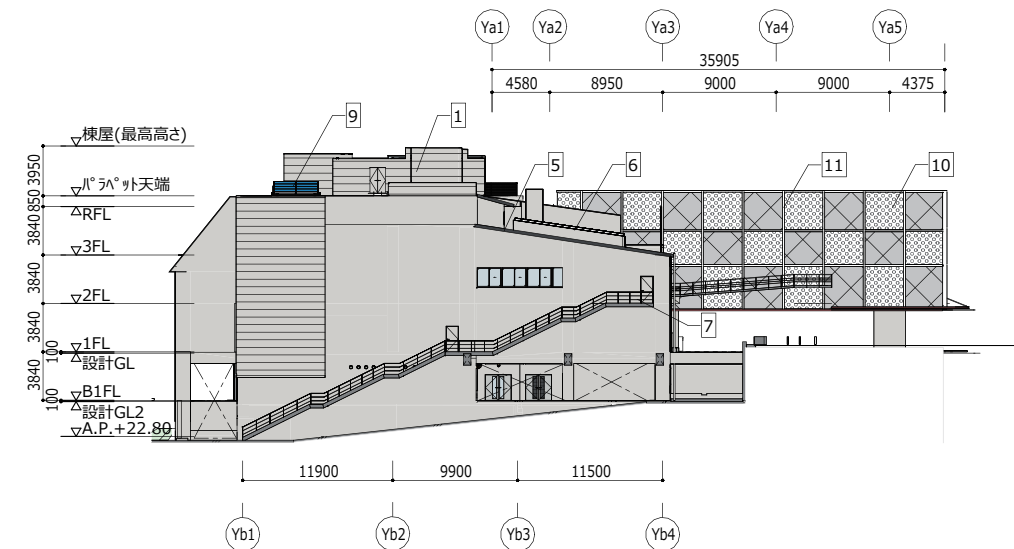
□強調色割合確認
N3：強調色計画面積/全体立面面積＝強調色割合≦20%
 $345\text{m}^2 / 4250\text{m}^2 = 0.08117 \approx 8.2\% \leq 20\%$



着色立面図 (南 Xa1-Xa3)

1 : 600

□ 強調色割合確認
 N3：強調色計畫面積/全体立面面積 = 強調色割合 ≤ 20%
 $20\text{m}^2 / 300\text{m}^2 = 0.0666 \div 6.7\% \leq 20\%$



着色立面図 (東)

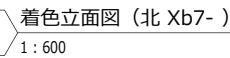
1 : 600

□強調色割合確認
N3: 強調色計画面積/全体立面面積 = 強調色割合 ≤ 20%
55㎡ / 950㎡ = 0.0578 ≒ 5.8% ≤ 20%

■ 色凡例

No.	材料	マンセル値	No.	材料	マンセル値
①	ECP・コンクリート（グレー）	N8	⑦	スチール手すり	N3
②	ECP・コンクリート（塗装仕上 A）	7.6RP 5.2/2.4	⑧	ガラス	-
③	ECP・コンクリート（塗装仕上 B）	1.7PB 4.4/2.4	⑨	太陽光パネル	-
④	ECP・コンクリート（塗装仕上 C）	1.6YR 7.0/3.7	⑩	金属パネル	N9
⑤	コンクリート打放（クリア補修）	N8	⑪	防球ネット	-
⑥	金属屋根	N3	⑫	ECP（塗装仕上 D：メタリック）	-

- ・新設擁壁：コンクリート打放



2 着色立面图 (西)
1:600

3 着色立面图 (北 Xa1-Xa6)
1:600

■色凡例					
No.	材料	マンセル値	No.	材料	マンセル値
①	ECP・コンクリート（グレー）	N8	⑦	スチール手すり	N3
②	ECP・コンクリート（塗装仕上 A）	7.6RP 5.2/2.4	⑧	ガラス	-
③	ECP・コンクリート（塗装仕上 B）	1.7PB 4.4/2.4	⑨	太陽光パネル	-
④	ECP・コンクリート（塗装仕上 C）	1.6YR 7.0/3.7	⑩	金属パネル	N9
⑤	コンクリート打放（クリア補修）	N8	⑪	防球ネット	-
⑥	金属屋根	N3	⑫	ECP（塗装仕上 D：メタリック）	-



明治通り側（西側）から望む（日中）



明治通り側（西側）から望む（夜景）

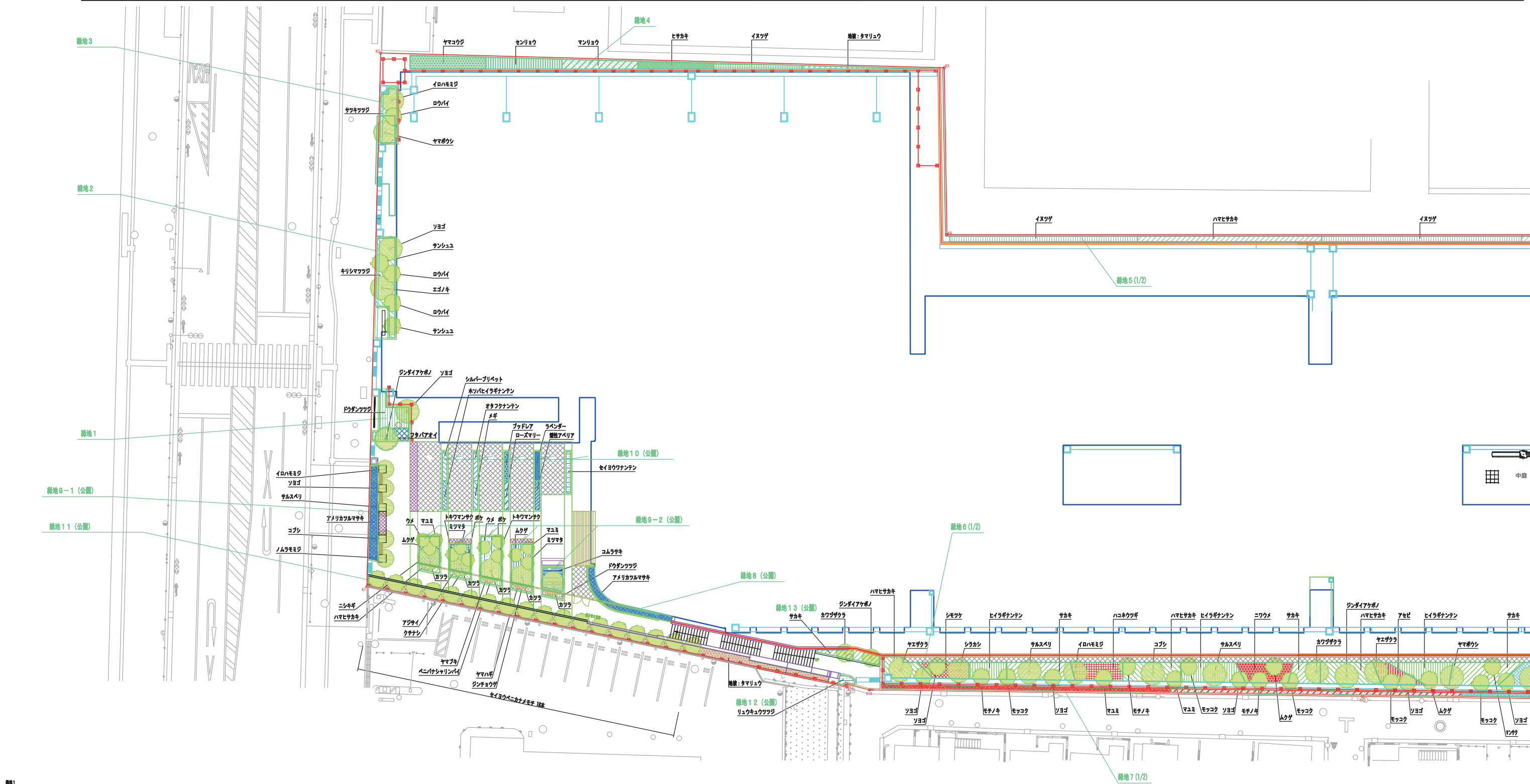


住宅地側（南側）から望む（日中）



住宅地側（南側）から望む（夜景）

資-1 植栽配置計画



緑地1	記号	名称	H	C	W	数量	単位	備考
基本	71	ソヨゴ	4.5	-	1.15	1	本	1.0m×0.7
基本	72	シロダリア	4.5	-	1.15	1	本	1.0m×0.7

緑地2	記号	名称	H	C	W	数量	単位	備考
基本	73	ソヨゴ	1.5	*	2.45	1	本	1.0m×0.7
基本	74	エゴノキ	1.5	*	2.45	1	本	1.0m×0.7
中本	75	サンシュユ	*	*	2.00	1	本	
中本	76	ロウバイ	*	*	2.00	1	本	

緑地3	記号	名称	H	C	W	数量	単位	備考
基本	77	イロハモミジ	1.5	*	2.45	1	本	1.0m×0.7
基本	78	ヤマモミジ	1.5	*	2.45	1	本	1.0m×0.7
中本	79	ロウバイ	*	*	2.00	1	本	

緑地9-1 (公園)	記号	名称	H	C	W	数量	単位	備考
基本	80	イロハモミジ	1.5	-	2.45	1	本	1.0m×0.7
基本	81	ソヨゴ	1.5	-	2.45	1	本	1.0m×0.7
基本	82	サルスベリ	1.5	-	2.45	1	本	1.0m×0.7
基本	83	コブシ	1.5	-	2.45	1	本	1.0m×0.7
基本	84	ノムラモミジ	1.5	-	2.45	1	本	1.0m×0.7

緑地9-2 (公園)	記号	名称	H	C	W	数量	単位	備考
基本	85	カワラ	4.5	-	1.15	5	本	1.0m×0.7
中本	86	ボケ	-	-	2.00	2	本	
中本	87	ミツマタ	-	-	2.00	2	本	
中本	88	マユミ	-	-	2.00	2	本	
中本	89	ウメ	-	-	2.00	2	本	
中本	90	ムクゲ	-	-	2.00	2	本	
中本	91	トキワマンサク	-	-	2.00	2	本	

緑地11 (公園)	記号	名称	H	C	W	数量	単位	備考
基本	92	セイヨウハナミズキ	-	-	2.00	10	本	

緑地13 (公園)	記号	名称	H	C	W	数量	単位	備考
基本	93	カワラ	3.5	-	1.45	1	本	
基本	94	シロダリア	3.5	-	1.45	1	本	

緑地1	記号	名称	H	C	W	数量	単位	備考
基本	95	ドウダンツツジ	0.4	-	0.2	100	本	1.0m×0.7
地盤	96	フタバタ	-	5.00	17.5	2.00	m	

緑地2	記号	名称	H	C	W	数量	単位	備考
基本	97	ササキ	0.3	-	0.3	100	本	1.0m×0.7

緑地3	記号	名称	H	C	W	数量	単位	備考
基本	98	ササキ	0.2	-	0.3	37	本	1.0m×0.7

緑地4	記号	名称	H	C	W	数量	単位	備考
基本	99	ヤブコウジ	0.3	-	0.3	100	本	1.0m×0.7
基本	100	センリョウ	0.4	-	0.4	100	本	1.0m×0.7
基本	101	マンリョウ	0.2	-	0.2	70	本	1.0m×0.7
基本	102	ヒサカキ	0.5	-	0.3	60	本	1.0m×0.7
基本	103	イヌツゲ	0.5	-	0.2	60	本	1.0m×0.7
地盤	104	タマリユ	-	5.00	17.5	2.00	m	

緑地9 (公園)	記号	名称	H	C	W	数量	単位	備考
基本	105	アメリカツルマサキ	-	5.00	17.5	0.00	本	1.0m×0.7

緑地9-1 (公園)	記号	名称	H	C	W	数量	単位	備考
基本	106	アメリカツルマサキ	-	5.00	17.5	70	本	1.0m×0.7

緑地9-2 (公園)	記号	名称	H	C	W	数量	単位	備考
基本	107	ニシキギ	0.5	-	0.3	65	本	1.0m×0.7
基本	108	アジサイ	0.5	-	0.3	57	本	1.0m×0.7
基本	109	ヤマハギ	0.5	-	0.3	50	本	1.0m×0.7
基本	110	コムラサキ	0.5	-	0.3	50	本	1.0m×0.7
基本	111	ハマヒサカキ	0.5	-	0.3	9	本	1.0m×0.7
基本	112	クサナ	0.5	-	0.3	12	本	1.0m×0.7
基本	113	ベニハナシラン	0.5	-	0.4	9	本	1.0m×0.7
基本	114	シロダリア	0.5	-	0.4	9	本	1.0m×0.7
基本	115	ドウダンツツジ	0.5	-	0.4	12	本	1.0m×0.7

緑地10 (公園)	記号	名 称	H	C	W	数量	単位	備 考
基本		シロツバク	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		シロツバク	0.4	-	0.4	9	本	1.0m×0.7
基本		ササキ	0.15	-	0.15	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本		ハコ	0.3	-	0.3	15	本	1.0m×0.7
基本								

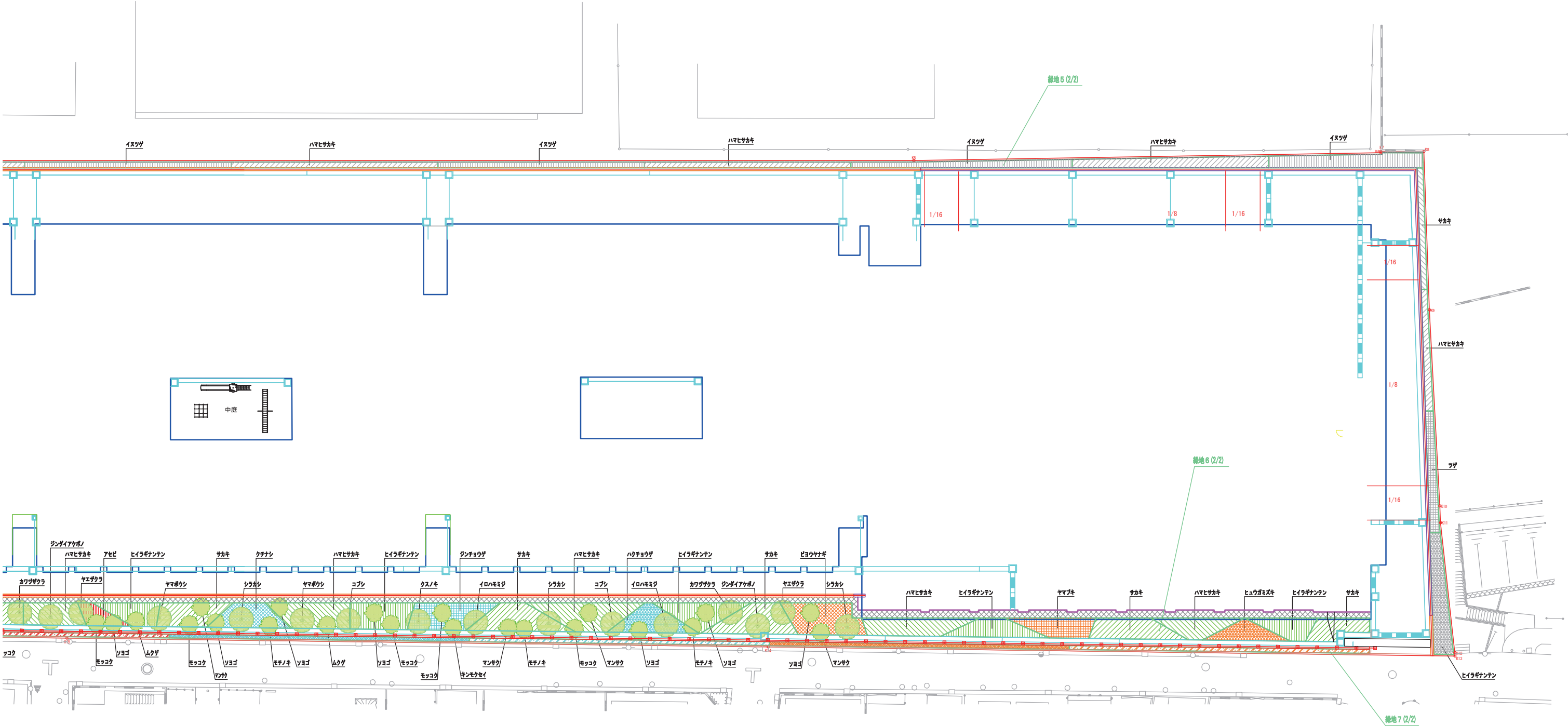


図 説	図 号	名 称	H	C	W	数 量	単 位	備 考	図 号	名 称	H	C	W	数 量	単 位	備 考	
図説	20	カワヅザクラ	4.5	-	3.15	1	本	840x40.7	図説	20	モッコク	-	-	2.00	8	本	
図説	21	ジンダイアケボノ	4.5	-	3.15	1	本	840x40.7	図説	21	モチノキ	-	-	2.00	8	本	
図説	22	ヤエザクラ	4.5	-	3.15	1	本	840x40.7	図説	22	ソヨゴ	-	-	2.00	12	本	
図説	23	シラカシ	4.5	-	3.15	4	本	840x40.7	図説	23	マユス	-	-	2.00	2	本	
図説	24	クスノキ	4.5	-	3.15	1	本	840x40.7	図説	24	ムクゲ	-	-	2.00	3	本	
図説	25	コブシ	4.5	-	3.15	3	本	840x40.7	図説	25	キンモクセイ	-	-	2.00	1	本	
図説	26	イロハモミジ	4.5	-	3.15	3	本	840x40.7	図説	26	マンサク	-	-	2.00	4	本	
図説	27	ササババ	4.5	-	3.15	2	本	840x40.7									
図説	28	ヤマボウシ	4.5	-	3.15	2	本	840x40.7									

図説	図 号	名 称	H	C	W	数 量	単位	備 考
図説	29	イヌツグ	0.5	-	0.2	720	本	72.24m ² -100% ²
図説	30	ハマヒサカキ	0.5	-	0.4	467	本	65.28m ² -76% ²
図説	31	サカキ	0.5	-	0.3	74	本	7.40m ² -10% ²
図説	32	ツグ	0.5	-	0.2	113	本	11.30m ² -10% ²
図説	33	ヒイラギナンテン	0.5	-	0.2	115	本	11.50m ² -6% ²

図説	図 号	名 称	H	C	W	数 量	単位	備 考
図説	34	サカキ	0.5	-	0.3	1020	本	102.00m ² -100% ²
図説	35	ハマヒサカキ	0.5	-	0.4	743	本	108.74m ² -76% ²
図説	36	ヒイラギナンテン	0.5	-	0.2	827	本	82.70m ² -46% ²
図説	37	シモツク	0.5	-	0.2	47	本	7.40m ² -4% ²
図説	38	ハコキクツグ	0.5	-	0.2	81	本	10.10m ² -4% ²
図説	39	ニワムシ	0.5	-	0.2	115	本	11.50m ² -10% ²
図説	40	アセビ	0.5	-	0.3	72	本	7.20m ² -10% ²
図説	41	クサナシ	0.5	-	0.3	140	本	14.00m ² -10% ²
図説	42	ジンチョウゲ	0.5	-	0.4	143	本	23.24m ² -76% ²
図説	43	ハクチョウゲ	0.5	-	0.4	100	本	15.40m ² -76% ²
図説	44	ビヨウヤナギ	0.5	-	0.4	182	本	23.12m ² -76% ²
図説	45	ヤマブキ	0.5	-	0.2	82	本	13.70m ² -46% ²
図説	46	ヒュウガミズキ	0.5	-	0.2	103	本	10.30m ² -10% ²

図説	図 号	名 称	H	C	W	数 量	単位	備 考
図説	47	サツキツツジ	0.3	-	0.4	86	本	12.24m ² -76% ²
図説	48	クルメツツジ	0.3	-	0.35	122	本	12.20m ² -10% ²
図説	49	リュウキュウツツジ	0.3	-	0.2	122	本	12.20m ² -10% ²
図説	50	ヒラキツツジ	0.3	-	0.3	122	本	12.20m ² -10% ²
図説	51	レンゲツツジ	0.4	-	0.35	122	本	12.20m ² -10% ²
図説	52	ドウダンツツジ	0.4	-	0.2	122	本	12.20m ² -10% ²

凡 例	図 号	名 称
図説	53	植栽ブロック